



公益財団法人 日本ライオンズ  
第4回全国特別支援学校フットサル大会  
**北九州・南九州地区大会**



主 催 公益財団法人 日本ライオンズ  
協 賛 ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)  
主 管 一般社団法人 沖縄県障がい者サッカー連盟  
後 援 スポーツ庁、全国特別支援学校長会、大分県、大分県教育委員会  
大分県特別支援学校長会、一般社団法人大分県サッカー協会  
協 力 速見フットサルコート NIKAIDO

## 開会式 次第 [08:45~]

- 1 開会宣言
- 2 国歌斉唱
- 3 主催者挨拶（公益財団法人日本ライオンズ理事）
- 4 祝辞
  - ・大分県知事
  - ・大分県教育委員会教育長
  - ・大分県特別支援学校長会会長
- 5 選手宣誓
- 6 大会注意（競技委員長）
- 7 閉会宣言

※この後に全員参加の写真を撮影します。

## 閉会式 次第 [試合終了後~]

- 1 開会宣言
- 2 成績発表
- 3 表彰
- 4 主催者挨拶（公益財団法人日本ライオンズ理事）
- 5 閉会宣言

# RESPECT

## 公益財団法人 日本ライオンズの大会基本コンセプト 自立とRESPECT

### ○ 自立への願い

公益財団法人日本ライオンズは、特別支援学校の多くの生徒が、卒業後、実社会に出て就労することを踏まえて、生徒が自ら判断し、自立的行動が可能になるように、生徒の主体的判断を尊重する大会を目指しています。

このため本大会は、通常のフットサル競技会では許されている監督・コーチのベンチでの指示・命令を禁止しています。監督・コーチは、選手交代時以外はベンチに座り、状況を見守り、生徒の自立的行動を正確に把握して、穏やかな態度で、生徒が主体的な判断・決定・実行する力を高めるよう、温かな思いやりのある行動を期待しています。

### ○ RESPECTへの願い

生徒は、卒業後、実社会に出た場合、RESPECT「他人への思いやり」があれば、大抵のことは円滑に進めることができます。この大会を通して、自校や他校の生徒同士、学校の先生、大会関係者、特にゲームでは審判へのRESPECT行動を具体的に示す大会を目指します。

このため会場では、自校の生徒同士、引率の先生、対戦相手校の生徒と先生、審判、大会関係者などにはRESPECTを表す「こんにちは」や「お願いします」「ありがとうございます」などの具体的な礼儀や言葉遣いを行うことを期待しています。

# ごあいさつ

公益財団法人日本ライオンズ  
九州地区大会

大会長 池上 信



私たち（公財）日本ライオンズは、特別支援学校の皆さん方がフットサルを行うことにより、元気や協力・協調、向上心などを養うことができると信じてこの大会を主催してまいりました。

私たちの願いは、この大会で培ったエネルギーを基にして、学校卒業後も地域の中で円滑・円満に働くなど、生きがいをもって有意義な生活をしてほしいことです。

さて、この大会は、今年で4回目の開催になります。大会創設当初は、新型コロナウィルス感染症の影響もあり、多くの学校が参加を見送るなどのこともありましたが、特別支援学校の生徒の皆さんと先生方の熱意、また多くの方々のご尽力を頂いて、昨年度は全国121校の参加校で開催することができました。ここに、心より御礼申し上げます。

本地区大会は、優勝校が第4回全国特別支援学校フットサル大会東京大会に招待され、全国12地区大会の優勝校と全国の覇権を競うことになります。

本地区大会優勝校には、是非とも、全国優勝という輝かしい戦績を残してほしいと願っております。

最後に、本大会は、特別支援学校に学ぶ生徒の皆様方の自立性と自主性を育み、将来の社会生活の自立のための力を得る一助になればとの強い願いで開催しております。このことから、チームを引率している教師や保護者等の皆様方には、大会に出場している生徒の自立性と自主性を認め、信じて頂き、コート外からの「指示・命令」に類した言葉を発せず、心の中でのご声援を頂ければ幸いとお願ひ申し上げます。

# 祝　　辞

大分県知事

佐藤　樹一郎



第4回全国特別支援学校フットサル大会北九州・南九州地区大会が、盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、九州各県からお越しいただきました選手並びに関係者の皆様を心から歓迎します。また、大会の開催にご尽力いただいた公益財団法人日本ライオンズをはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、今年11月には、聴覚に障がいのあるアスリートが世界中から集う「東京2025 デフリンピック」、来年10月には「アジアパラ競技大会」が、それぞれ国内で初の開催を予定しており、パラスポーツへの関心をさらに高め、その輪を一層広げる好機を迎えてます。

そのような中、特別支援学校の生徒の皆さんによるフットサル大会がここ大分県で開催されること、その中で皆さんのが自立的行動や他人への思いやりの心を高めていくことは大変意義深いものです。

大分県では、「障がい者活躍日本一」を掲げ、障がい者の就労はもとより、スポーツや芸術活動など、多様な活躍の場づくりを進めています。とりわけ、スポーツの分野では、国内外のトップアスリートが集う世界最高峰の「大分国際車いすマラソン」をはじめ、様々な大会における選手の活躍を通じて、障がい者の社会参加を推進しています。引き続き、障がい者スポーツの振興に力を入れてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

全国大会を目指し、競技に挑む選手の皆さんのが、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、仲間との交流も深め、思い出に残る素晴らしい大会になることを願っています。

結びに、本大会の成功と、選手並びに公益財団法人日本ライオンズをはじめ関係者の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

# 祝　　辞

大分県教育委員会

教育長　山田　雅文



第4回全国特別支援学校フットサル大会北九州地区・南九州地区大会が、九州各県の皆様のご参加のもと盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、主催者であります公益財団法人日本ライオンズの皆様には、日頃より本県の特別支援教育振興に対するご支援・ご協力をいたしておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、特別支援教育を取り巻く近年の動向を見ますと、令和5年6月に閣議決定された「教育振興基本計画」では、障害者の権利に関する条約に基づく共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育システムの推進が重要であるとされています。本県においても、令和7年3月に「大分県特別支援教育推進プラン2025」を策定し、障がいのある子どもの自立と社会参加に向けて、一人一人に応じた学びの場を保障し、共に学び支え合う共生社会を築くインクルーシブ教育システムの実現を目指しています。その方針のもと、小・中学校における通級指導教室の充実や特別支援学校と他校種を一体的に運営するインクルーシブな学校運営モデルの検討など、さまざまな取組を進めているところです。

全国特別支援学校フットサル大会は、フットサルを通じて広く社会性を養い、就労意欲を高めるとともに、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催されています。基本コンセプトとして、みなさんの主体的判断を尊重することや、他者を思いやり、リスペクトする精神を大切にすることを目指していると伺っています。

本大会においても、フットサルの試合を通じて、自ら考え、仲間と協力し、相手を思いやりながらプレーすることで、みなさんにとって将来につながる交流の場であると同時に、大きく成長するための貴重な機会となることを期待しています。

結びに、貴財団と本大会のますますのご発展並びにご参加の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

# 祝　　辞

大分県特別支援学校長会

会長 小野 泰史



令和7年度第4回全国特別支援学校フットサル大会北九州・南九州地区大会が、九州各県のチーム参加のもと盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は第4回を迎える、この大分県での開催は3年連続となりました。開始以来本大会の開催、実施につきまして、多大なご尽力を賜りました公益財団法人日本ライオンズの皆様に衷心より感謝申し上げます。

さて、本大会は11月に東京で開催される第4回全国特別支援学校フットサル大会へ出場するそれぞれの地区代表を決める大会です。本日出場する選手・チームの皆さんには、この日に向け、日頃からフットサルにおける個人の技術の向上はもとより、チームにおける戦術や連携精度を高める練習をされてきたと思います。これまでの練習成果を発揮し、チームとしての目標を達成できるよう願っています。あわせて、九州各県より集まった他チームとの交流が今日を機に始まり、フットサルをとおした特別支援学校の輪がますます広がることを祈念しています。

公益財団法人日本ライオンズ様の大会基本コンセプトは「自立と R E S P E C T」です。これは選手みなさんの主体的判断を尊重すること、自分のチームだけでなく相手チームの選手、監督、コーチ、大会関係者、審判の皆様への思いやりのある行動が求められていることを示しています。選手のみなさんには、より良い試合結果を出すことと同じように、主体的な判断や行動を自ら行うこと、挨拶やお礼の言葉を相手にしっかりと伝えることを期待しています。

結びに、選手のみなさん、関係者の皆様のますますのご活躍とご健勝並びに公益財団法人日本ライオンズ様の今後ますますのご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉いたします。

# 開催要項

- 1 目的** 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もつて広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。
- 2 主催** 公益財団法人 日本ライオンズ
- 3 協賛** ライオンズクラブ国際財団(LCIF)
- 4 管理** 一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟
- 5 後援** スポーツ庁、全国特別支援学校長会、大分県、大分県教育委員会  
大分県特別支援学校長会、一般社団法人大分県サッカー協会
- 6 協力** 速見フットサルコート NIKAIDO
- 7 日時** 2025年8月17日（日） 8:45～ 開会式
- 8 競技会場** 速見フットサルコートA／B（屋根付きショートパイル人工芝）  
住所：大分県速見郡日出町大字藤原4627-1  
電話番号 0977-73-0233 FAX 0977-73-0244
- 9 参加資格** 〈全国大会予選〉  
(1) 特別支援学校学習指導要領に基づく教育課程により学ぶ特別支援学校等であること。  
(2) 最低3名で競技が成立することから、単独校生徒で編成されたチームであること。  
(3) 各校は、校長の承諾の下で1チームを参加できること。  
(4) 九州大会の各地区の優勝校2校は、主催者が経費を負担する全国大会に出場すること。  
・北九州地区（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）  
・南九州地区（大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）  
(5) 各県代表として、1チームが九州大会に出場できる。県内で複数校の参加希望がある場合には、各県で選考を行い、代表校を決定すること。  
(6) 各県の参加チームに欠員が出た場合、主催者にて協議を重ね、参加チームを決定する。  
〈エンジョイ部門（九州大会のみ）〉  
(1) 特別支援学校学習指導要領に基づく教育課程により学ぶ特別支援学校等であり、小・中・高等部を設置した学校であること。  
(2) 各県の予選に参加したチームであること。  
(3) 最低3名で競技が成立することから、単独校生徒で編成されたチームであること。  
(4) 各校は、校長の承諾の下で1チームを参加できること。  
(5) 本年度は、試行的に実施するため、各県の予選で複数校が出場している県と協議の上、参加チームを決定する。
- 10 参加人員** 1チームは、生徒3～8名、引率1～3名、計4～11名で編成すること。
- 11 表彰** 〈全国大会予選〉  
優勝、準優勝、3位まで表彰する。優勝及び準優勝チームには盾を授与する。  
九州大会の各地区の優勝校2校は、2025年10月31日（金）～11月2日（日）東京都武蔵野の森スポーツプラザ サブアリーナで開催の第4回全国特別支援学校フットサル大会に出場することができる。（なお、都合により出場できない場合は、以下上位順位チームの学校が出場する。）  
〈エンジョイ部門（九州大会のみ）〉  
優勝、準優勝、3位まで表彰する。優勝及び準優勝チームには盾を授与する。
- 12 参加申込** (1) 参加チームは、参加申込書に必要事項を記載し、プライバシーポリシー同意書にチーム代表者の捺印したもの(PDF)を一般社団法人沖縄県障がい者サッカー連盟宛てにメールにて提出すること。  
(2) 参加申込締切日：2025年7月14日（月） 17:00まで
- 13 参加料** 無料とする。
- 14 経費** (1) 大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費及び宿泊代は、予算の範囲内で助成する。  
(2) 地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。  
(3) 各県の代表チームの選考に係る経費は、各県で負担する。
- 15 傷害補償** チームの責任において、傷害保険に加入すること。
- 16 個人情報保護** 本大会における選手登録情報等の個人情報については、本大会業務遂行の目的のみに使用する。
- 17 その他の**   
・参加校は、自校生徒及び相手校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、各種の指導場面での留意に努める。  
・本大会は、主催者が監督・コーチの立位及び座位でのベンチでの生徒への指示(選手交代を除く)の一切を禁止するので、各校の日々の練習もそのような指導に努めることを求める。

# 大会規則

- 1 競技方法**
  - 参加チームにてリーグ戦を行い、北九州地区、南九州地区それぞれ1位を決定する。
  - 試合時間は20分（前・後半10分）のランニングタイムとし、ハーフタイムは3分間（前半終了から後半開始まで）とする。
  - 引き分けの場合は延長戦を行わず、PK戦（3名）を行い、順位を決定する。

※エンジョイ部門の交流戦については、参加校や運営方法など事務局側で協議し、競技を決定する。

- 2 競技規則** 当該年の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則を準拠するが、各地区大会では参加校の特性及び障がいの特性等に応じて、参加校の共通理解の下で、適切・弾力的に運用する。

- ボールは、フットサルボール4号球を使用する。
  - 選手の交代は自由である。
  - 試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。
  - 交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。
  - キックインはボールがピッチから出た地点から始める。外に25cm以内の地点から静止したボールを蹴る。
  - すべての相手競技者は、キックインが行われる場所のタッチライン上の地点から5m以上離れて立つていなければならない。
  - ボールは、蹴られて明らかに動いたときにインプレーとなる。
  - チームがボールを蹴り入れる準備ができてから、または、チームが準備できたと主審・第2審判が合図してから、4秒以内にボールをインプレーにしなければならない。
  - ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から実施する。
  - キックオフ、キックインから直接ゴールはできない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
  - キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は5m以上離れる。
  - 決勝戦には、ファイブファウルを適用する。
  - 前、後半それぞれ各チームの累積ファウル6つ目からファウルの起きた地点もしくは第2ペナルティマークのどちらかを選択し、直接フリーキックを行う。
- ※この場合、ファウルをしたチームの選手はGKを除きボールとゴールラインの間に位置することはできない。
- 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。
  - なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
  - バックパスルールは競技規則通りに適用するが、主管組織で地域の状況等を踏まえて決定する。
  - 退場処分は、レッドカードもしくは1試合2度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
  - 選手は、ユニフォームを着用する。ユニフォームがない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。
  - 出場選手は、必ずレガースを着用することとする。
  - 靴は、フットサルシューズ（インドア用）もしくはトレーニングシューズ（運動靴）でも可能とする。
  - ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。
  - ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。
  - 眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第1試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
  - ベンチには、大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。
  - 審判への監督や選手からの不平不満、異議、抗議などがあった際は警告する。場合によっては、チームを失格とし会場からも退場してもらう。各校指導者の審判への不平不満は一切禁止する。

- 3 ユニフォーム** 本大会実施年度のJFAユニフォーム規程による。

※ユニフォームに関しては事前の協議で対応可

- 4 組み合わせ** 2025年8月16日（土）17:00～

大会会場にて行う。

# 対戦表

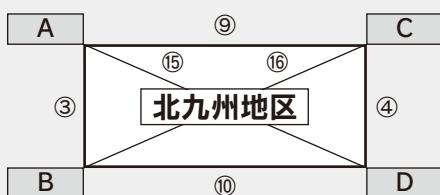
北九州地区 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県

南九州地区 大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

エンジョイ部門 福岡県、長崎県、大分県、宮崎県

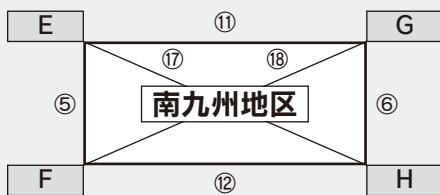
kick off	MNo.	Aピッチ (道路側)			MNo.	Bピッチ (クラブハウス側)		
開会式 (Aピッチ)								
9:15	エンジョイ ①		—		エンジョイ ②		—	
9:45	北九州地区 ブロック③		—		北九州地区 ブロック④		—	
10:15	南九州地区 ブロック⑤		—		南九州地区 ブロック⑥		—	
10:45	エンジョイ ⑦		—		エンジョイ ⑧		—	
11:15	北九州地区 ブロック⑨		—		北九州地区 ブロック⑩		—	
11:45	南九州地区 ブロック⑪		—		南九州地区 ブロック⑫		—	
お昼休憩								
13:00	エンジョイ ⑬		—		エンジョイ ⑭		—	
13:30	北九州地区 ブロック⑮		—		北九州地区 ブロック⑯		—	
14:00	南九州地区 ブロック⑰		—		南九州地区 ブロック⑱		—	
閉会式 (Aピッチ)								
完全退去 (お疲れ様でした)								

北九州地区 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県



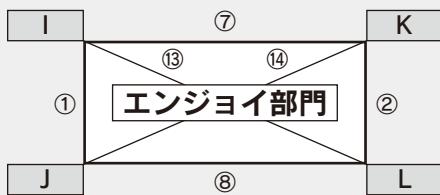
	A	B	C	D
A				
B				
C				
D				

南九州地区 大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県



	E	F	G	H
E				
F				
G				
H				

エンジョイ部門 福岡県、長崎県、大分県、宮崎県



	I	J	K	L
I				
J				
K				
L				

第4回  
全国特別支援学校  
フットサル大会  
北九州地区大会  
参加校

福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」

監督	谷川 啓	引率責任者
コーチ	光安 和久	
コーチ	田中 舞	
背番号	学年	氏名
18	2年	永淵 成将
10	2年	田中 薫輝
14	2年	床平 陸
5	1年	石田 龍聖
15	1年	徳増 夏悠
11	2年	山本 青空
7	3年	住田 陽樹
9	2年	小川 優月
		主将

佐賀県立伊万里特別支援学校

監督	犬塚 晃海	引率責任者
コーチ	益田 一輝	
コーチ	岡 修司	
背番号	学年	氏名
10	3年	中村 秋司
4	3年	池田 紫真
3	3年	山下 翔玄
1	3年	川島 悠生
6	3年	川久保 優伸
2	3年	蒲池 真利
9	2年	金居 光星
7	2年	竹脇 將祐

第4回  
全国特別支援学校  
フットサル大会  
南九州地区大会  
参加校

大分県立さくらの杜高等支援学校

監督	小澤 剛史	引率責任者
コーチ	末永 昭久	
背番号	学年	氏名
1	3年	山本 韶樹
2	3年	石井 智人
3	2年	古庄 怜央
4	1年	荒巻 乃得
5	1年	藤山 優斗
6	2年	下津 大和
7	3年	佐藤 流星
8	3年	永富 結也

宮崎県立日向ひまわり支援学校

監督	田口 拓	引率責任者
コーチ	芥田 智香子	
コーチ	野田 萌香	
背番号	学年	氏名
1	3年	黒田 詩音
2	3年	田島 匠
3	3年	柳田 光翔
4	2年	荻原 天心
5	3年	黒木 直也
6	3年	野別 奈茄未
7	1年	松葉 遥生

第4回  
全国特別支援学校  
フットサル大会  
北九州・南九州地区大会  
エンジョイ部門  
参加校

福岡県立糸島特別支援学校

引率責任者	下田 浩司	
監督	江口 司	
コーチ	酒村 香織	
背番号	学年	氏名
1	高1年	横田 直人
2	中3年	中村 海咲
5	高1年	坂本 匠柚
7	高1年	西川 光輝
8	中3年	中野 優羽
9	中3年	藤山 篤樹
10	高1年	石郷 晴道
11	高1年	ブートラ オリバー大智
		主将

長崎県立島原特別支援学校

監督	喜多 豊和	
コーチ	松崎 一孝	
コーチ	園田 友美	
背番号	学年	氏名
1	2年	吉本 結城
2	3年	大島 美咲
3	2年	大久保 亜美
4	2年	田中 奏汰
5	3年	津村 優人
6	1年	北田 海斗
8	1年	大平 司
10	2年	森川 時貞

### 長崎県立希望が丘高等特別支援学校

監督	江口 貴紀	引率責任者	
コーチ	荒木 誠治		
マネージャー	伊藤 萌		
背番号	学年	氏名	備考
7	3年	山本 隼人	主 将
9	3年	三木 悠翔	
1	2年	酒井 康太	
5	2年	久松 舞翔	
11	2年	野澤 優佑	
12	1年	渋谷 慶心	
15	1年	花岡 愛羅	
16	1年	成瀬 泰志	

### 熊本県立熊本はばたき高等支援学校

顧問	福永 哲也	引率責任者	
監督	境野 裕一		
総監督	松村 知毅		
背番号	学年	氏名	備考
1	2年	石橋 征樹	
2	2年	青木 理久	
3	2年	伊藤 翼	
4	2年	渡邊 幹介	
5	2年	細田 虎之介	主 将
6	3年	早川 朋希	
7	3年	井上 凱斗	
8	3年	岡本 恵來	



### 鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校

監督	宮地 正敏	引率責任者	
コーチ	臼山 裕生		
トレーナー	畠中 裕毅		
背番号	学年	氏名	備考
1	2年	堀之内 仁	
3	2年	永田 侑	
6	3年	南谷 瑠希	
7	3年	内村 洸太	主 将
8	2年	海老原 蓮	
13	3年	徳永 翔	
14	2年	中山 遼斗	
16	2年	迫田 孝司朗	

### 沖縄県立沖縄高等特別支援学校

監督	阿嘉 博之	引率責任者	
コーチ	長浜 達也		
顧問	幸喜 恒俊		
背番号	学年	氏名	備考
1	3年	宮里 一聰	主 将
8	3年	添田 航矢	
2	3年	銘苅 栖成	
10	2年	喜屋武 友人	
6	1年	平良 優和	
3	1年	宮城 翔馬	
9	1年	仲里 基央	
13	1年	仲宗根 嶽介	



### 大分県立大分支援学校

監督	後藤 清		
コーチ	北山 大志	引率責任者	
コーチ	宮田 繁輝		
背番号	学年	氏名	備考
11	3年	山崎 那由多	主 将
1	3年	板野 勝矢	
15	3年	浅田 亜純	
16	2年	中村 学	
4	2年	峯 菜々美	
10	1年	吉村 心優	
6	1年	田上 遥斗	
14	1年	徳丸 秋穂	

### 宮崎県立みなみのかぜ支援学校

監督	山下 将史		
コーチ	太田 裕輝	引率責任者	
コーチ	門村 裕香		
背番号	学年	氏名	備考
1	2年	内園 桃花	
2	2年	並木 累衣華	
3	2年	城戸 智偉	
4	2年	福岡 優聖	
5	2年	竹熊 和馬	
6	3年	吉田 直生	主 将

# 過去の九州大会記録

		1位	2位	3位
第1回	九州	鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校 (全国大会3位)	沖縄県立沖縄高等特別支援学校	沖縄県立中部農林高等支援学校
第2回	九州	大分県立さくらの杜高等支援学校 (全国大会6位)	鹿児島県立牧之原特別支援学校	福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」 (全国大会7位)
				長崎県立希望が丘高等特別支援学校
第3回	北九州	長崎県立希望が丘高等特別支援学校 (全国大会10位)	福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」	
	南九州	大分県立さくらの杜高等支援学校 (全国大会7位)	沖縄県立中部農林高等支援学校	鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校

## 令和7年度 九州各県大会 参加校

番号	県名	学校名	出場回数
1	福岡県	福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」(代表校)	1回
2		福岡県立糸島特別支援学校(エンジョイ部門参加校)	1回
3		福岡県立特別支援学校「福岡高等学園」	3回
4	佐賀県	佐賀県立伊万里特別支援学校(代表校)	1回
5		佐賀県立大和特別支援学校	1回
6	長崎県	長崎県立希望が丘高等特別支援学校(代表校)	3回
7		長崎県立島原特別支援学校(エンジョイ部門参加校)	3回
8		長崎県立虹の原特別支援学校	3回
9		長崎県立佐世保特別支援学校	3回
10	熊本県	熊本県立熊本はばたき高等支援学校(代表校)	2回
11	大分県	大分県立さくらの杜高等支援学校(代表校)	3回
12		大分県立大分支援学校(エンジョイ部門参加校)	4回
13		大分県立中津支援学校	1回
14	宮崎県	宮崎県立日向ひまわり支援学校(代表校)	3回
15		宮崎県立みなみのかぜ支援学校(エンジョイ部門参加校)	2回
16	鹿児島県	鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校(代表校)	4回
17		鹿児島県立牧之原特別支援学校	4回
18	沖縄県	沖縄県立沖縄高等特別支援学校(代表校)	3回
19		沖縄県立中部農林高等支援学校	4回

# 全天候型フットサルコート

# I-HFC

## 速見フットサルコート NIKAIDO



### コート予約案内

受付電話番号／TEL **0977-73-0233**

受付時間／9:30~21:30 (12/31~1/2は除く)

検索はこちらから

速見フットサルコート

**速見フットサルコート NIKAIDO**

大分県速見郡日出町大字藤原4627-1  
TEL.0977-73-0233 FAX.0977-73-0244



健康をつくる  
**みどり牛乳**  
九州乳業株式会社

スポーツ飲料・お茶・水など取扱い  
**みどり牛乳**  
森販売店 代表：森 広行

牛乳から人や街を元気に！

〒870-0307 大分市坂ノ市中央1-7-19  
TEL (097)592-1416

毎度有難うございます



**南国飯店**  
**十五万石**

代表：森 薫

〒870-0268 大分市政所1-1-8  
TEL (097)593-0598





# PUBLIC RELATIONS

応え続ける 伝え続ける 造り続ける

 株式会社明文堂印刷

大分市長浜町1丁目2-2  
TEL.097-533-8800





公益財団法人 日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-4 八重洲ノリオビル5階  
TEL. 03-6262-6108